

病院実務実習での妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師による教育の効果のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2025年11月27日～2030年12月31日

〔研究課題〕

病院実務実習での妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師による教育効果

〔研究目的〕

妊婦・授乳婦領域は、倫理的配慮により臨床試験が行われていないことが多く、薬剤情報は限られているため、医療現場において当領域の薬剤師の役割は大きいとされています。産婦人科診療ガイドラインでは妊婦・授乳婦専門/薬物療法認定薬剤師と連携し、医薬品使用のカウンセリングを実施することが推奨されています。しかし、2024年10月時点で専門・認定薬剤師は全国に約200名程度と非常に少なく、当領域の薬剤師の養成が課題です。そこで今回、実務実習の中で当領域の専門・認定薬剤師の認知度や教育効果について明らかにすることを目的として、帝京大学医学部附属病院（以下、当院）で実務実習を行った学生を対象に調査を行います。

〔研究意義〕

当領域の薬物療法に関する教育の現状や専門・認定薬剤師の認知度を把握することで、今後の教育プログラムの改善や認定制度の普及に向けた具体的な施策を立案するための基礎資料が得られます。これにより、妊婦・授乳婦に対する医薬品使用の安全性と適切性が向上し、母子の健康に貢献することが期待されます。

〔対象・研究方法〕

2024年度に帝京大学医学部附属病院で実務実習を行った大学5年生を対象に、妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師が講義を行い、その前後で当領域における薬物療法の教育状況、専門・認定薬剤師の認知度に関連する項目についてアンケートおよびテストを実施します。その結果を後ろ向きに解析します。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部附属病院 薬剤部

〔個人情報の取り扱い〕

個人情報の保護のため、氏名、住所、生年月日、電話番号などの個人を識別できる情報については収集致しません。学生氏名を順に並べ、番号を振り分けた対照表を作成します。個人情報との対照表は同薬剤部地下一階カンファレンスルームの鍵のかかるロッカーに保管し、データの使用拒否を申し出た者の情報は収集を行わず、対照表を用いてリストから削除致します。研究終了後は、帝京大学医学部附属病院薬剤部で10年間保管の後、廃棄します。

対象となる学生で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

参加拒否を申し出た場合も成績・評価には影響しません。ご協力よろしくお願ひ申し上げます。

問い合わせ先

研究責任者：氏名 仲村聰美

職名 係員

研究分担者：氏名 安野伸浩

職名 部長

所属：帝京大学医学部附属病院 薬剤部

住所：東京都板橋区加賀2-11-1 TEL:03-3964-1211（代表）